

あいあいあい

I eye 愛

2022年
3月号



● 本業である「炭焼き」に勤む「ひっぽ電力株式会社」目黒社長（4-5ページに関連記事）

忘れない 諦めない 原発ゼロになる日を目指して

理事 櫻井 洋子

「10年の節目というけれど、これを一区切りに急速に忘れられて行くことが本場に怖い。」

原発事故から10年となった昨年、あいコープで開催した「飯館電力バーチャルツアー」（オンラインで福島県飯館村を視察するイベント）の際に、飯館電力の千葉副社長がおっしゃった言葉です。放射能汚染に苦しむ福島県飯館村に根を下ろし復興のため事業を続ける、まさに「当事者」である彼の言葉に、私はハッとしました。「震災は終わっていない」「10年たつても復興は道半ばだ」。よく聞かれるそんな言葉を頭ではよくわかっているつもりでも、慣れもあつてか耳からすると抜け落ち、心が鋭く反応しなくなっていました。

放射能汚染廃棄物が焼却されれば見えなくなるように、ALPS処理水という名の汚染水を海に流せば目の前から消えるように、故郷に帰れない人を報道しなくなれば避難者はいないように感じるように、目につかなくなれば人は忘れていきます。無くなって欲しいものですが、無かったことにしてはいけないものです。

原発事故後「放射能被害」が日常の中にある被災地で、それでも諦めずコツコツと前を向いて暮らす方たちが宮城県にもいます。原発事故による被害に再エネでリベンジしようと発電事業を始めたひっぽ電力（伊具郡丸森町）。私たちあいコープみやぎは、ひっぽ電力の立ち上げ時から交流を続けてきました。自然豊かな集落で、この地域でこそできること、そして地域の為になる事業を続けながら、自然と共に生きている姿には感動さえ覚えます。事故前も事故後も根本は変わらない。人と人、人と自然がつながってみんなが心豊かに暮らすこと。あいコープみやぎが理念として掲げる想いと重なります。そんな質素な幸せを奪った原発事故を許すことはできません。

まもなく11回目の3・11がやってきます。10回目でも11回目でも「区切り」なんてない。今も続く原発事故の被害を「忘れてはいけない」と襟を正す私たちを横目に、早ければ今年度再稼働する女川原発。「原発ゼロ」を望む気持ちに区切りがつくのは、それが達成された時です。諦めることなく訴え続けましょう。

CONTENTS

▶ 3、11 今年もあの日を振り返る …2
▶ ゲノム編集トマトが子供たちの手に? …3

▶ 放射能との闘い あの日以来今も続く取り組み…4-5
▶ フェアトレードのバナナを選ぶということ …6

▶ 布おむつ 談議開催 …7
▶ あいコープ活用術 でんき切り替え …8

11 回目の【3・11】 忘れない 忘れさせない

「機関紙あいあいあい」で繋いだ
生産者と組合員の「頑張ろう」

◆震災当時、物流がストップする中、生協あいこープは組合員へ必死で物資を届けました。そして、組合員と生産者をつなぐ役割を果たした一ツが機関紙「あいあいあい」。発災からほどなく、理事たちは「あいあいあい」を配布しました。当時のことを元あいこープ理事の吉野さんに伺いました。

Q 震災時のこと、あいあいあいを発行した時のことを教えてください

あいこープの日の出町センターであの揺れに遭いました。職員と声を掛け合い駐車場へ避難したのを覚えてます。「あいあいあい」は約一か月後からB4表裏に、ぎつしり手書きで、2週間に一度発行しました。パソコンも、印刷会社も無理なら、手書きで書いて、あいこープのコピー機で印刷すればいいんだ！と。元理事長吉武洋子さんの「一人は万人のために、万人は一人のために」を巻頭言に、生産者の皆さんの安否情報、福島原発事故情報。そして、組合員さんから「生産者の皆さんへメッセージを！」の枠を作ったのです。配布の翌週くらいから、あいあいあいを編集担当へ、生産者の皆さんの「無事を祈る組合員さんからのメッセージが届き始めたんです！組合員室の壁の模造紙に次々と貼っていきました。「伝えたい」と走り出した理事や職員たちの背中を押してくださったのは、組合員さんたちでした。

Q 生産者の状況を伝えるため訪問した時はどうでしたか？

私は息子たちを連れて、壊滅的被害を受けた高橋徳治商店さん(当時は石巻市に工場)に、ヘドロ掃除の手伝いに何度か行きました。大変な状況の中で高橋英雄社長が、我が子を含め支援にきているボランティアの皆さんに感謝の言葉をかけてくださるのです。支援なんておこがましい。我が子に、社長の背中を見せられたことに感謝でした。被災した石巻の工場で一本だけ稼働したレーンで、何度も試作を重ねて復活した「おとうふ揚げ」をいただいた時、今でも、その感動は忘れられません。その後、東松島へ新工場を建設した後にも、何度か取材をさせていただきました。私は、こんなにも大変な状況でも、前を向いて復興しようとしている生産者の方たちに何ができるのだろうか？と自問自答しながらの取材でした。

◆大変な状況の中で生産者と生協組合員を繋いだ「あいあいあい」(love・愛)の精神を、これからも受け継いで発行していきます。吉野さん、ありがとうございます！



吉野 むつさん (元あいこープ理事)

現在は NPO 法人とうほく食育実践協会理事。あいこープのセレクトショップ「食 lab little beans」でも活躍中(通常はマスク着用で営業しています)

組合員の震災体験

あの日のあいこープへ 感謝を伝えたい

2011年の大震災、私は一人自宅で被災しました。揺れが収まると、壊れたガラス瓶など部屋の中の危険な物を取り除いて安全な場所を確保しました。「これを非常時と言わないでいつ言うのか」と自分に言い聞かせ、何年も封を切らずにしまい込んでいた非常用の備品を取り出しました。家族全員が無事が確認できたのは翌朝でした。幼い孫たちの生活リズムを第一に考え、近所に住む娘と協力して当面の生活のめどをつけました。

そんなある日、我が家の前に見慣れた車が止まったのに気づきました。あいこープのトラックです。挨拶と同時に思わず、お互いに笑みがこぼれました。職員さんからいただいた支援物資で油揚げ入りの豚汁を作っておいしくいただきました。光が差し込んできたようで、その時の感激は忘れられません。

次に考えることは食べることでした。当日午前、あいこープの配送が届いていたことにより、食料には余裕がありました。あるものから順に食べていき、最初はお赤飯やらウナギやらが食卓に上りました。しかし日を追うごとに心細くなり、積極的に調達を考える必要に迫られました。朝市で千円のキャベツを買った人を尻目に、我が家で買った500円のキャベツ。気づいたら韓国産でした。文句も言えずおいしくいただきました。開いているという情報を頼りに、スーパーに行っても物がなくて買えない、あってもすぐ売り切れ状態。

4月になり桜の花を見ても、なぜこんなときに咲くのかと思うばかりで、心は全く動きませんでした。体調を崩したりしましたが、取り返しつかない被害は無く、まだまだ恵まれていたと思います。自分で背中を押しながらの一日一日でした。孫の成長は待ったなしで、わたしの生きる力となり、気づけば10年を過ぎていました。

大きな地震が発生する度、当時がフラッシュバックしてきます。これからも災害に備え、物だけで無く心の準備も大切だと改めて思っています。

組合員 ペンネーム みいちゃん



子どもたちに ゲノム編集トマトを与えていいの？

昨年9月から、ゲノム編集トマトが一般販売されるようになりました。日本では、「ゲノム編集は元々生物が持っている遺伝子の一部を破壊するだけなので、通常の突然変異と変わらない」という理屈で表示義務もなく、食品の安全性審査もなく流通できる仕組みになっています。しかしゲノム編集牛に遺伝子操作の過程で挿入された抗生物質耐性遺伝子が残ったままになっていたことが明らかになる等、問題点が指摘されており、EUなど諸外国ではこれまでの遺伝子組み換え食品と同じ規制をかけたたり、条例で栽培を禁止している地域もあります。

そんな中、開発会社は2022年から障がい者福祉施設や学校にゲノム編集トマト苗を無償で配布すると発表をしました。学校から与えられたら、子どもたちは抵抗なく苗を受け取り、育てて口にするでしょう。実質、選択権のない子どもたちや福祉施設の利用者を巻き込んで抵抗感を減らそうとするやり方に憤りを感じ

ます。その為、あいコープでは受け取り拒否を求める要望書を宮城県内の全自治体に提出します。各地に賛同する団体も増えてきていますが、一個人での意思表示も大きな力になります。どうぞこの活動に賛同する方は意思をお示しください。

下記QRコードから登録可能です。3月1日に第一回目の要望書提出をしますが、その後も活動を続けますので、どうぞよろしくをお願いします！



楽しく育てる
トマトの苗が
ゲノム編集作物！？



「LPAの会」は2021年にできた新しい委員会です。LPAライププランアドバイザーは、組合員の皆さんのやりたいこと、これからの過ごし方（ライププラン）を経済・家計の角度から、理想の実現に向けて一緒に考えます。ほとんどの委員はLPAになりましたので、初心者マークが付いています。徐々に軌道に乗せて皆様の役に立ちたいと思います。

1月18日に開催された今回の学習会、テーマは「空き家問題」。あなたの住んでいる町や身近なところで空き家はありますか？空き家の取得方法は、相続が圧倒的で、所有するのは60代以上が全体の4分の3を占めること。空き家は、保有者が管理・責任を負うのですが、自宅から遠



講師：佐藤益弘氏
(株式会社 優益FP
オフィス代表取締役)

LPAの会 オンラインくらし見直し学習会

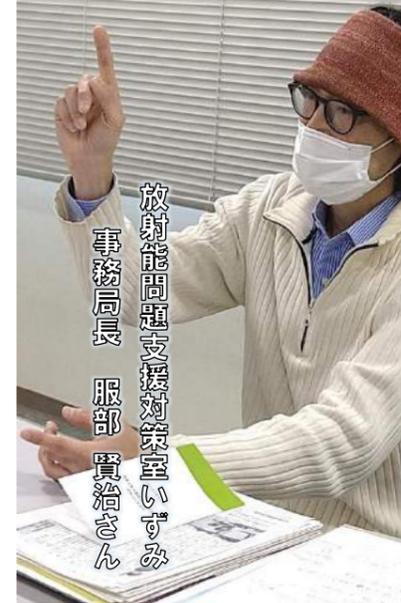
「高齢期に困る住まいのシユウ活」開催

方にある、維持費がかさむなどの理由から行き届かない事もあり、地域の問題となりつつあります。もはや他人事とは言っていない事実は、実家を空き家にしたために、今すべきことは何か？それは、家をどのようにしたいのか、身内間での意思確認が絶対条件です。高齢になると難しくなってくるので、はっきり物事の判断ができるうちに話を、コミュニケーションを取ることが大事だとわかりました。一歩先行く行動を取ることで、トラブルの回避や失敗を防げます。

私たちLPAは、組合員のお金にまつわる「困った！」に頼りになる身近な存在でありたいと思います。これからも知識を身に付け、精進して取り組んでいきます。

LPAの会 ライププランアドバイザー
高橋千香子

子どもたちの健康を守りたいという
様々な人の想いが繋がって
「いずみ」の背中を押してくれた



放射能問題支援対策室いずみ
事務局長 服部 賢治さん

2011年の原発事故から、放射能との闘いが始まりました。特に幼い子どもを持つ親たちには、放射線被曝によって発生率が上がるという「甲状腺がん」に対する不安が大きなストレスに。国も県も積極的に甲状腺検査をしてくれない中、希望する子どもたちが無料で甲状腺エコー検査を受けられるようにしよう！と動き出した団体がありました。

「日本基督教団東北教区・放射能問題支援対策室いずみ（以下「いずみ」）。東北3県の日本キリスト教団の教会を拠点とし、こども甲状腺エコー検査と、被曝リスクの低い地域で体を休める「保養」を柱に、不安を抱える人々に寄り添っています。震災直後立ち上げられた小委員会を経て、2013年秋「いずみ」として活動を開始。子どもたちを守りたい思いに共感するたくさんの人々の支援を受けて、各地で検査会を開いています。

「いずみ」のもう一つの大切な活動である「保養」とは、放射線量の高い地域を離れ数日間過ごし、心と体をリフレッシュするために行われます。体内の放射性物質を排出し免疫力を上げること、被曝リスクの高い地域で暮らす人の健康への心配を軽減しようというものです。全国の教会のネットワークを活かし、北海道や奄美など様々な場所に受け入れ拠点を設けています。「受け入れ側の条件は『温かく迎えること』の一点です」とのこと。不安を抱えながら暮らす人にとって、保養はとても嬉しいイベントです。ニーズは一向に減らず、いつも定員オーバーになるそうです。しかしながら、そんな活動に対し「保養が必要だなんて、福島が危険だと言っているようなものじゃないか」と批判する声も聞こえることがあるとか。そんな「考え方の相違」は保養を望む人を悩ませます。保養に行くことを家族や知人に打ち明けられず「ちよっと旅行に行く」と出かけてくる参加者もいるというお話には、心が痛みます。原発事故は、何年たっても人々を分断し続けているのです。



「いずみ」の皆さんのおかげで
小さな子どもも安心して検査を受ける



様々な「いずみ」の取り組みは、外部の団体との連携で広がっています。宮城県内のある地域では原発事故後、子どもたちの健康を心配した地域住民が自発的に放射能測定などの活動を始め、行政に子ども甲状腺エコー検査を要請しました。しかし実現はされず、どこかで「いずみ」の存在を知り、エコー検査に協力して欲しいとのお話が来たそうです。

「そういう、同じ気持ちを持つ方たちが繋がって、金銭的支援も含め我々の背中を押してくれて今があるんです。自分の身内だけでなく、みんなが受けられるようにと願う方々の思いに「いずみ」は支えられています」と服部さんは長年の活動を振り返ります。行政が行わないなら市民がやろう。報酬なしで特殊な機器を操作し丁寧に検査する医師も、受付や問診をするスタッフもボランティアで運営される甲状腺エコー検査会。そして全国で、不安を持つ人を温かく迎えてくれる保養プログラム。そこには子どもたちの健康と幸せを願う愛が溢れていました。

新型コロナウイルスの影響で検査も保養も開催しにくい状況が続いています。望む声に応えるためにも、コロナ終息を願う服部さんでした。

あの日をきっかけに 今も続く取り組み

〜東京電力 福島第一原発事故から11年〜

宮城県の最南端、丸森町の筆甫（ひっぽ）地区で、耕作放棄地などを利用して太陽光発電事業を行う「(株)ひっぽ電力」は、「パルシステムでんき」（8ページに関連記事）の発電産地の一つ。放射能による被害から立ち上がるため会社を設立したのは6年前の3・11でした。この地でずっと炭を焼きながら農林業を営んできた目黒忠七さんは、震災前から農林産物の価格低迷に苦しんできましたが、放射能被害でとどめを刺された形に。あらゆるものが出荷停止になり筆甫地区に暗雲が立ち込める中「原発で受けた被害を再エネで跳ね返そう」と、目黒さんを含む7人の有志が立ち上がりました。筆甫地区の「再エネ村構想」の始まりです。

「立ち上げ準備の頃、あいコープの組合員さんに言われたことが今も心に残っています」と語るのは、ひっぽ電力事務局長の金上孝さん。やる気はあっても資金力に乏しいひっぽ電力がその構想を説明した再エネシンポジウムの席。資金援助の話は言い出しづらく口ごもっていたと「支援してくれと言っていた」と協力するから。今すぐカンパ袋を回しましょう！という組合員の言葉。その行動力に、金上さんは目が覚めた思いだったと話します。ひっぽ電力は1号基の設立に要した一千万円弱の資金を、あいコープ組合員を含むたくさんの方から一口5万円、無利子で8年間借りることで準備しました。地域の人々も「お金はないけど役には立てるよ」と、仕事道具の重機を自ら駆り工事に協力したり、まさに人の力が束になって完成させた第1号機を皮切りに、現在は13

号基までが稼働しています。当初は「株式会社」である故に、「金儲けの事業なのだろう」と誤解が生じたこともあったとか。株式会社としてしっかりと利益を生み、土地使用料や雇用といった地域への還元を目的としていることが伝わるまで時間が必要でした。ひっぽ電力は順調に事業を拡大し、8年を待たずに支援者からの貸し付けを完済。空き家をリノベーションしたオフグリッド（外部からの電源供給がなくエネルギーを自給自足している）住宅に事務所を構え、東京から移住してきた若い男性を新たに雇用していました。

2019年の台風で丸森町も被害を受け、道路は寸断、陸の孤島と化した筆甫地区でしたが、地域に点在する空き地を利用した発電所には全く被害がなく、防災拠点として役立った個所もあったそうです。こうした経験からも、ますます地域の理解が進むでしょう。しかし順調な経過ばかりではありません。丸森町耕野地区に計画されたメガソーラー発電所（東京の合同会社が建設）に対する反対運動や、全国の土砂災害のニュースの影響で「ソーラー発電所は悪」というイメージが独り歩きし、ひっぽ電力のような小規模分散型、環境負荷



2016年の1号基設置イベント
出資者が集まり盛り上がった

の低い発電所までもが十把一絡げにされる事態も起きています。更に、原発再稼働を目指す国や県の意向から、太陽光発電の出力を抑制できる機器を取り付けることを求められ、多額の費用が発生。憤りもありますが、目黒さんや金上さんは「会社として結果を出さなきゃ負けてしまう」と前を向きま

「筆甫地区が在り続け、人々が暮らし続けられるように始まった電力事業。今は「地域の事業者」としての役割を果たし、その役割を終えるまで地域と共に歩みたい」と地道な取り組みを話すお二人に、震災、原発事故、台風被害にも負けない強かさとなややかさを見ました。あいコープは今後も交流を続けます。

2/8 「種苗への遺伝子操作の表示を求める署名」提出集会

農地や家庭菜園で「知らずにゲノム編集作物を栽培」という恐ろしい現実が迫っている中「せめて表示を」と集めた署名が21万筆を超えました。この一筆一筆に「作りたくない、食べたくない、食べさせたくない」という消費者の切実な願いが込められています。質問に対する行政側からの回答「従来の育種技術とゲノム編集を区別できないので表示ができない」には、そんな問題があるものを野放しに流通させる感覚こそ恐ろしいと思いました。参加者からの「今の言葉を10年・20年後にもう一度言えるか、その時には【時すでに遅し】にならないといいですね」という意見に、大いに賛同。今後も反対の声を届け続けましょう。



東京・参議院会館での集会に
オンラインで参加しました

1/26 汚染水（ALPS 処理水）の海洋放出について学ぶ

1月26日、ALPS 処理水の海洋放出についての学習会が行われました。講師の長谷川公一さん（尚絅学院大学特任教授）は、ALPSは現在も正式稼働の発表がされておらず、汚染水に含まれる様々な放射性核種を取りきれぬのが疑問がある事、30年にも及ぶ放出で東京電力が負担する金額も明らかにされていない事などを挙げ、「海洋放出は本当に合理的な選択と言えるのか、むしろ問題の本質を見えなく忘れさせてしまう方法だ」と訴えました。後半では宮城県漁協の奥田さんから宮城の水産業の現状についてや漁業関係者としての思いが語られました。QRコードから当日の動画をご覧ください。どうぞご覧ください。



当日の動画はこちらから



株式会社ひっぽ電力
代表取締役社長 目黒 忠七さん

地域おこしになればと始めた事業
「地域の事業者である」「こ」を
忘れずに伝えていきたい



空き家をリノベーションした
ひっぽ電力本社事務所



ストーブに薪をくべる
金上孝 事務局長



暖かな事務所で
設立当時のお話も伺った

おだいの
たねまき



フェアトレードってなんだろう？ あいコープのバナナについて考える

「お母さん、フェアトレードって何？
学校で先生に、おうちで調べておいでっ
て言われたんだけど・・・」とお子さん
から言われた方はいませんか？SDG
S、ジェンダー、フェアトレード・・・最近
の学校では、親の世代では学ばなかつ
たことを学んでいます。社会の変化を
感じますね。

まんま通信に載っている商品には、
「フェアトレード」マークが付いたもの
がいくつかあります。オーリーブオイルや
コーヒー豆、チョコレート、エビ、そして
バナナ。これらは発展途上国の商品を
適正な価格で買い続け、労働者の生活
を守り改善しようとする「フェアトレ
ード」商品です。背景には発展途上国
の生産地に対する買い叩き問題や、児

童労働問題、農薬などにより働く人の
健康が害される過酷な労働環境問題
があります。

例えばあいコープのまんま通信に掲
載のバナナは、スーパーで売っている有
名ブランドのバナナより高価ですね。
特別おいしい？栄養価が高い？捉え方
は人それぞれですが、一番の違いは
「公正な貿易で得たバナナである」と
いうこと。一部の企業が広大な土地を
切り開いて大きな農園を経営し、単一
作物を作る「プランテーション」では、
収益を上げるため農薬を多用してい
るものがあります。労働者は、安い賃
金で雇われた上に、空中散布される農
薬のせいで健康被害を受けることも
あると知られています。

そんな不条理な貿易の仕組みから
生産者を守り、食べる消費者も守るの
が「フェアトレード」商品。生協では、発
展途上国の貧困問題を、募金などは
なく「正当な対価を支払う取引」をす
ることで解決し、自立を支えようと
「民衆交易」の運動を続けてきまし
た。まんま通信で利用できる、バラング
ンバナナ（フィリピン産）やホームトンバナナ
（タイ産）を選ぶことは、生産地で働く
人、生活する人を貧困や健康被害か
ら守ると同時に、農薬や乱開発による
環境破壊を防ぐことに繋がります。



バナナは、骨がなくて濃くおいしい！
バラングンバナナは、骨がなくて濃くおいしい！
化学合成農薬・化学肥料不使用



ホームトンバナナは、収穫後の
タイで栽培。化学合成農薬不使用。

ええのうえんのう

仙台えんのう倶楽部の情報を毎月
お届けする「のコーナー」
第12回目は小野裕寿さんからの
報告です

いよいよ「仙台えんのう倶楽部」のシ
ーズン到来。会員数も耕作面積も増えまし
たが、気候の影響、鳥獣・害虫被害もあつ
て収穫量が半減した品種もありました。
周りには農薬を使用している農家もある
ので、我々の畑に集まるのでしょうか？防
除策を考え、鳥獣・害虫に負けないように
栽培したいと思います。

今シーズン最初の産地応援作業は、七
郷クローバースファームのトマトの定植作
業です。2月の寒い時期に夏の定番野菜
であるトマトを植えるのです。路地栽培
では5月の連休過ぎに植え付けるものを
ハウスではこの時期に植え付けます。3千
数百本のトマト苗を植えるために、えんの
う倶楽部会員が準備作業から定植までお
手伝いをします。ハウスの中は初夏並みの
暖かさがあり汗だくで作業をしています。

この作業を皮切りに、コメの苗作り・田
植え、梨の摘花や受粉作業、夏作物の苗の
植え付け、除草作業など、とにかく多く人
手の必要な作業に参加し、産地を応援し
ています。組合員さんの参加を心から
待ちしています。



トマト定植に向けて
種苗店から届いた苗を
箱から出し準備する

理事会議事録抄

2022年2月1日（火）

▼2月以降の組合員活
動における新型コロナウイルスウ
イルス感染拡大防止対
策について決定した▼2
022年度議案書説明
会の開催方法変更につ
いて承認した▼2022
年度活動方針及び活動
テーマについて承認した▼
2021年度活動報告に
ついて協議した▼仙台え
んのう倶楽部との産地
応援活動について、えん
のう倶楽部との協議の
進捗を確認した▼202
2年度産地交流企画に
ついて承認した▼組合員
活動「インスタグラマー
募集」について承認した
▼仙南地区の地区委員
長を承認した。

組織概要

(2022年1月分)

【組合員数】	14,786名
【供給高】	216,558千円
【一人実利用高】	5,251円/週
【出資金】	1,284,814千円

ちよっと
ひとこと

❶「今日の晩御飯であいコープじゃない材料はど〜れだ？」「じゃがいも！」「ブー、残念。正解はこの葉味の
木芽でした〜！どうしても足りなかったの」「うーんやられた〜」（子どもとの毎日の夕飯クイズより）

始めよう！続けよう！
石けん生活

1/27 石けん環境委員会
オンライン学習会報告

自分のペースで
布おむつを使ってみませんか

布おむつについて語り合う「布おむつ談議」をオンラインで開催しました。参加者は出産準備の方からトイレトレーニングの方まで総勢8名。中にはパパさんの姿も！「パパさんの参加なんて、なんだか嬉しいね」と参加者から喜びの声も聞かれ、オンラインながらも楽しいムードが広がります。

初めに、赤ちゃんの人形を使って布おむつの基本的なあて方をお見せし、布おむつの種類に合わせた洗い方や干し方を紹介しました。その中で、月齢の違うお子さんがいる参加者同士でおむつカバーの種類や干し方を教え合ったり疑問に答えたりと、とても和気あいあ



モデルのお人形さんも布おむつで気持ちよさそう

いとした会になりました。

またこれまでに石けん環境委員会（以前の布おむつの会）に寄せられた未使用のおむつやおむつカバーを、希望者に配送でお送りしました。気軽に布おむつを試して頂ける機会になったのではないかと思います。「紙おむつ」とはいいますが、実際はなんと素材の大半がプラスチックです。1日1回布おむつを使用してみるだけでも、使い捨てるプラスチックごみを減らすことができます。

布おむつの使い方に、これじやなきやダメといったルールはありません。自分に合った方法で気軽に布おむつ生活を楽しんでいただけると嬉しいですね。

ご参加頂いた皆様、そしてこれまで布おむつを寄せて下さった組合員の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

石けん環境委員会

理事 佐藤 あきな



私のオススメ商品



私のおすすめは放牧パスちゃんヨーグルトです。大人から子供まで人気のパスちゃん牛乳と同じ生乳を原料にしています。一度、牛たちが育つながめやま牧場を見学する機会がありました。広大な放牧地と牛舎を自由に行動する牛たちはとても快適そうに過ごしていました。そのストレスのない環境が美味しい生乳を生み出している事を身をもって実感出来ました。そんな生乳で作られたヨーグルトは、適度な酸味にもっちりとした食感、なめらかな舌触りが特徴です。そのままはもちろんジャムや果物との相性も抜群。皆様も是非一度ご賞味ください！ 事業部供給課 庄子利奈

はとても快適そうに過ごしていました。そのストレスのない環境が美味しい生乳を生み出している事を身をもって実感出来ました。そんな生乳で作られたヨーグルトは、適度な酸味にもっちりとした食感、なめらかな舌触りが特徴です。そのままはもちろんジャムや果物との相性も抜群。皆様も是非一度ご賞味ください！ 事業部供給課 庄子利奈

編集後記

今月号の表紙や特集の取材の為、丸森町の筆甫へ行きました。台風19号被害からの復旧半ばで、行き慣れた道は通れず。迂回して辿り着いた先に、久々のひっぱ電力の皆さんの笑顔がありました。社長である目黒さんの炭焼き小屋は炭の焼けるいい香り！燻る煙に安心するのは、火を焚いて暖を採ったり外敵から身を守った「生き物としての人間」のDNAかも？なんて話を目黒さんから聞き、気持ちは一気に原始時代。薪で火を焚いて木を育てるカーボンニュートラルを直に感じられる筆甫が大好きです。

広報担当理事 鈴木 真奈美

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つづやき』も大募集中！

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔/出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2022年1月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	6件	利用延べ人数	0名
集団託児	0件	◆ケア時間	9時間
慶弔・出産	15件	*Covid-19の為、活動を	制限していました。
電話相談窓口	14件		
計	35件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ ☎ 0120-50-7277 平日 9:00~15:00

- 年金相談..4/12(火) 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30
- 法律相談..4/12(火)、4/20(水) 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30
- 傾聴..4/12(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏
10:00~12:00
- 子ども相談..4/19(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00
- 介護相談 (ケアプランセンター木れび 山崎彰子氏) は相談希望日をうかがいます。

▼各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

●自分達でまいた小豆の種から沢山の小豆が収穫できました。農家の方々に感謝しながらおいしく頂きたいと思ひます。そして種も大切にしようと思ひます。(たねまきプロジェクト参加者)



その11 切り替えることは怖くない！ 「あいコープででんきを選ぼう」

「再生可能エネルギー」をつくる生産者に
あなたの大事な電気代をお届けします



はあ：電気代高いなあ

冬は電気代が上がるわよね。あいちゃん、電力会社はどこ？

どこと：みんな同じじゃないんですか？あ、もしや池田さんは携帯会社の安くなる電力会社とかですか？

違う違う！うちは、あいコープで契約した「パルシステムでんき」よ！実はね、他より毎月5%安い(※)。しかも、支払った基本料金から毎月100円が「発電産地応援金」として電気を作る人に届いてるのよ。

電気を作る人？池田さんの知り合いですか？

うん。知り合いって程ではないけど、顔は知ってるわ(笑)。パルシステムでんきは誰がどうやって作った電気が全部わかるの。あいちゃんは今、自分が払ってる電気代がどこに届いてるか知ってる？

え。そんなこと考えたこともなかった。

でしよ。普通そうよね。CO2をたくさん出す発電所や、森林伐採したメガソーラー発電、もしかしたら原子力発電に使われているかもしれないわよ。

CO2！原発！それは嫌かも。気候変動が騒がれてるし、放射能も心配です。

私の払ってる電気代は、東北はもちろん全国にある、太陽光発電やバイオマス発電、小水力発電の産地に届いてるの。実はあいコープの事務所も、ちっちゃいけれど太陽光発電の「産地」なのよ。

すーいそーまでわかるんですか。



基本料金や単価が同じなら、CO2削減や環境を守ることに力を入れてる会社に払いたいと思ってね。



それいいですねーでも：切り替えてめんどくさそう。解約の電話とか、引き留められると弱いんです私(笑)



あいコープの注文書で資料請求して、配送のお兄さんに頼めば、手続きは全部あいコープがやってくれるのよ。工事も必要ないしあつという間よ。パルシステムでんき仲間になつてくれたら、池田家秘伝の節電方法を教えちゃうわよ！



わかりました！次の注文の時、資料請求してみますね。池田さんの秘伝の節電法は凄そうです(笑)

資料請求は注文用紙の「でんき資料請求」欄に「1」を
または注文番号 **190772** を記入

(※)2022年3月31日までお申し込みの方限定
ご契約から1年間 **電気代5%OFF**



今回のナビゲーター
脱原発委員 池田 朋子さん

組合員歴30年以上。自宅の屋根や庭に太陽光発電、太陽熱温水器を設置し、雨水タンクの水を家庭菜園に利用するなど、エネルギーの有効活用にとても熱心な、仙台市内在住の主婦。

Calendar *今後のイベント*

3/11 金 脱原発エネルギーシフト委員会主催
3・11キャンドルナイト

場所 / みなさんのご自宅など
時間 / 19:00~20:00 またはお好きな時間
参加費 / 無料
明かりを消して、光がなかったあの夜を思い出す感想、写真も募集します。詳しくは脱原発ニュースまたはあいコープHPをご覧ください

3/22 火 2021年度 農産報告会
第一部：吉田太郎氏講演会
第二部：県内の農産産地からの報告

場所 / オンライン (zoom) 開催
自宅からパソコン、スマホで参加
時間 / 10:00~12:40
参加費 / 無料



「Wa! わあ祭り
おかわりっ！」開催中
(3月31日まで)

楽しかった2021年度の
Wa! わあ祭りの企画を
もう一度楽しもう！
お申込みはあいコープ公式HPから
バナーをクリック

地区委員さん募集中！
一定例会見学も受付中ー

地区委員会は

楽しい！
おいしい！
学べる！！
あいコープの仲間だから
本音トークができます。



お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)